

表現活動

とちのみ会 太鼓クラブ 他

社会福祉法人与ちのみ会は、1959年5月に「とちのみ学園」を開園し、「共生と地域支援」を理念に掲げ、地域に開かれた施設として活動しています。今回は、「とちのみ学園」と各事業所の利用者と結成された太鼓クラブが、熱心な練習の成果を披露します。その他、「すぎなみき学園」と「栃の葉荘」も演技を披露します。



シンポジスト

野澤 和弘 氏 植草学園大学 副学長

1983年毎日新聞社入社。2007年から夕刊編集部長。2009年から論説委員。障害・福祉分野に長く取り組み、現在も講演活動などで広く活動中。主な著書に「あの夜、君が泣いたわけ」(中央法規)、「障害者のリアル×東大生のリアル」(ぶどう社)、「わかりやすさの本質」(NHK出版)、「弱さを愛せる社会へ」(中央法規)。



玉木 幸則 氏 (一社)兵庫県相談支援ネットワーク 代表理事

1968年兵庫県姫路市に仮死状態で生まれる。4歳で肢体不自由児療育施設に入所。小中学校は、地元の普通学級で学ぶも高等学校では養護学校へ。1991年日本福祉大学社会福祉学部卒業後、自立生活センター・メインストリーム協会勤務。2013～2020年、西宮市社会福祉協議会勤務、相談支援や生活福祉資金、日常自立生活支援事業などに携わる。NHK Eテレで放送されていた「バリバラ」にご意見番として出演していた。



近藤 紀章 氏 滋賀大学 経済学部 DS・AIイノベーション研究推進センター 講師

1977年広島県生まれ。2007年滋賀県立大学大学院環境科学研究科後期博士課程満期退学、地域づくり教育研究センター研究員、NPO法人五環生活代表理事、滋賀大学環境総合研究センター客員研究員を経て、2023年から現職。博士(経済学)。共生社会フォーラムにおける研修の企画運営を担当。



映像プログラム

ラストメッセージ この子らを世の光に

日本初の公的福祉施設「近江学園」設立に尽力した糸賀一雄と彼を支えた池田太郎や田村一二らについて紹介。障害のある子どもたちと寝食を共にし、生き生きと暮らす糸賀や職員たちの姿を記録した当時のフィルムに映るのは、まさに「福祉」の原点と言える。



大平 眞太郎 氏 (社福)グロー 総務部長

1975年大阪府生まれ。2001年(社福)びわこ学園入職。重度障害者への直接支援、相談支援業務に従事。2011年(社福)滋賀県社会福祉事業団(現・グロー)入職。2016年厚生労働省障害福祉課・相談支援専門官、2019年滋賀県障害福祉課・障害福祉専門官として相談支援体制整備および障害者プランの策定業務を担当。2025年より現職。



岡部 浩之 氏 (社福)清心会 理事長

1973年埼玉県秩父市生まれ。1997年社会福祉法人清心会入職。レスパイトサービス、ホームヘルプサービス、グループホームをはじめとした地域支援を中心に従事。入所施設から100人近い方の地域移行を実現。共生社会フォーラムには2018年第1回より参加。全国地域生活支援ネットワーク副理事長、埼玉県発達障害者福祉協会副会長、秩父地域自立支援協議会会長など。共著に「僕らはいつも旅の途中(中央法規)」。



お申し込みは、ウェブサイトまたは
FAX・メール(別紙参加申込書)にて！

【申込締切：令和8年1月30日(木)】
<https://inclusive-society.net/>



【厚生労働省主催】令和7年度 共生社会等に関する基本理念等普及啓発事業

共生社会 フォーラム

in 栃木 2025年度全体フォーラム

福祉の思想に学び、実践し、語る人に

表現活動 とちのみ会 太鼓クラブ 他 / 基調講演 野澤 和弘 氏 植草学園大学 副学長

令和8(2026)年 2月12日(木)～13日(金)

栃木県総合文化センター(栃木県宇都宮市本町1-8)

参加無料 定員： [12日10:00～14:30] 一般:70名
【要申込】 110名 [12日15:00～16:00] 実践報告・交流会:20名+オンライン参加定員なし
[12日&13日両日参加] 福祉職研修:20名(中堅12名、学生・新任者8名)

実施 公益財団法人糸賀一雄記念財団、共生社会フォーラムin栃木開催委員会

[開催委員会構成団体] 社会福祉法人同愛会 / 社会福祉法人すぎなみき会 / 社会福祉法人与ちのみ会 /
社会福祉法人渡良瀬会 / 社会福祉法人こころみる会 / 社会福祉法人真純乃郷福祉会
[後援団体] 特定非営利活動法人栃木県障害施設・事業協会

申込・問合せ 公益財団法人 糸賀一雄記念財団 HP <https://inclusive-society.net/>
〒525-0072 滋賀県草津市笠山7丁目8-138 滋賀県立長寿社会福祉センター内
TEL 077-567-1707 FAX 077-567-1708 E-mail itoga-oubo@itogazaidan.jp

社会情勢に応じ、マスク着用、手指消毒、検温へのご協力をお願いすることがあります。

全ての国民が、障害をはじめとする生きづらさの有無によって分け隔てられることなく、人の尊厳の輝きを認め合いながらともに生きる共生社会の実現が求められています。しかしながら、社会の一部には、障害を有する方に対する否定的な意見や偏見が一定数存在することを踏まえ、共生社会を実現させるためには、その基本理念について福祉分野をはじめ広く社会に普及させる必要があります。誰もが等しく基本的人権を享有するかけがえのない個人として尊重されるものであるという理念等について学び、自らの実践につなげ、さらには所属や地域社会に向けて普及啓発していく人材の養成研修を組み込んだフォーラムを実施します。

コース

共生社会フォーラムは、大きく3つのコースに分かれ
コース①は、共生社会や多様性に関心ある福祉業界以外の方もふるってご参加ください。

コース① 一般プログラム
対象:どなたでも

コース② 福祉職向け研修
対象:福祉職・学生

コース③ 実践報告・交流会
対象:過去の研修受講者・メンター

表現活動鑑賞や映像プログラム
基調講演・シンポジウム

共生社会における
語り部等養成研修

地域や現場での
普及啓発活動を共有

社会福祉法人とちのみ会 太鼓クラブ他
による演技や、日本の障害福祉の父
と言われる「糸賀一雄」の思想と実
践についてまとめたNHK制作の番
組映像を視聴します。また、今回は
全体フォーラムとしてシンポジウム
を開催します。
*初日14:30までのプログラムに参加

津久井やまゆり園事件を契機に、福
祉に携わる人々の資質や対話のあり
方が問われています。対象別に2つ
の分科会(下部参加申込方法参照)に
わかれ、共生社会の基本理念につい
て考え、普及啓発のための語り部を
目指すプログラムです。
*2日間すべてのプログラムに参加

これまで各ブロックで開催した研修
の受講経験者とメンターによる実践
報告・交流会を開催します。研修受講
時に作成したアクションプラン等に
基づき、職場や地域で行った実践例
を情報交換し、各人の今後の展開に
ついて話し合います。
*初日15:00～16:00のプログラムに参加

定員 70名

定員 20名
(第1分科会12名/第2分科会8名)

定員 20名
(+オンライン参加は定員なし)

参加申込方法

いずれのコースも事前申込が必要です。ウェブサイト
(<https://inclusive-society.net/>)の申込フォーム、または
別紙参加申込書に必要事項を記入の上、FAX・メールでお
申し込みください。「コース①一般プログラム」に参加条件
はありませんが、「コース②福祉職向け研修」は右の条件を
満たす方が対象です。また、コース②参加者には事前に資
料をお送りします。あらかじめ資料を読んで研修に臨んでく
ださい。「コース③実践報告・交流会」の受講対象者には個
別にご案内します。

申込締切:令和8年1月30日(木)
※定員になり次第、締め切りとします。

<第1分科会> 福祉支援語り部(中堅)

福祉職や教員および行政職としておおむね5年以上の
現場経験を有し、職場で中堅職員、管理者等として職
員を指導・助言する立場にある人。研修を経て共生社
会の基本理念を職場内で実践し、語り広めることが期
待できる人で、所属の施設・事業所、社会福祉協議会、
社会福祉法人経営者協議会、学校長・教育委員会、自
治体等から推薦された人。

<第2分科会> 学生・新任者

在籍する学部等を問わず、福祉に強く関心がある大学
生等。または、福祉施設・事業所等に就職しておおむね
数年以内の新任者や内定者。

タイムテーブル

▶▶ 1日目 令和8年2月12日(木)

コース① 一般プログラム・コース② 福祉職向け研修 ※コース①は、14:30で終了			
10:00 - 10:10	開会あいさつ		
10:10 - 10:50	表現活動「とちのみ会 太鼓クラブ 他」		
11:00 - 12:00	映像プログラム NHKスペシャル「ラストメッセージ この子らを世の光に」		
13:00 - 14:30	基調講演・シンポジウム 「かけがえのない いのちの発信 ～福祉の思想の伝え方～」 〈シンポジスト(プロフィールは裏面)〉野澤 和弘 氏/岡部 浩之 氏/玉木 幸則 氏/大平 眞太郎 氏/近藤 紀章 氏		
コース② 福祉職向け研修		コース③ 実践報告・交流会	
14:45 - 17:30 コース②対象	グループワーク研修① (第1分科会「福祉支援語り部(中堅)」 /第2分科会「学生・新任者」) いずれの分科会でも福祉の思想・普遍的価値の共 有を目的として、基調講演や映像プログラムを題材 に、個人の内面に向き合うワークとグループディス カッションを行います。	15:00 - 16:00 コース③対象	対面+オンライン開催 これまでのフォーラムにおける コース②受講経験者とメンター 経験者を対象に実施します。各 地での実践例について共有し、 意見交換を行います。

▶▶ 2日目 令和8年2月13日(金)

コース② 福祉職向け研修	
9:30 - 12:00 コース②対象	グループワーク研修② (第1分科会「福祉支援語り部(中堅)」/第2分科会「学生・新任者」) 第1分科会では、やまゆり園での事件を題材に、“生きる意味のない命がある”“障害者は社会に不幸をもた らすだけ”という考えに同調する意見などに返す言葉をもつためのワークを行います。第2分科会では、元 NHK Eテレ「バリバラ」のご意見番などで知られる玉木幸則氏とともに、“そもそも障害とはなんだろう?”を テーマに率直に語り合います。
13:00 - 15:30 コース②対象	グループワーク研修③ (第1分科会「福祉支援語り部(中堅)」/第2分科会「学生・新任者」) 第1分科会ではグループワーク研修①や②を踏まえて、それぞれが自らの職場に戻って語りの場を持つこ とができるよう、メンターのサポートを受けながらアクションプランを作成します。第2分科会では、グルー プワーク研修②の議論を引き継ぎながら、玉木幸則氏とともに、“学生一人ひとりが抱える生きづらさ”を言 葉にしながら、“福祉=幸せの追求”や“そもそも人が生きること”について、向き合います。
15:30 - 16:00	まとめ・ふりかえり/閉会あいさつ

会場アクセス

栃木県総合文化センター

栃木県宇都宮市本町1-8
TEL 028-643-1000

JR宇都宮駅(西口)より タクシーで約5分
バス停「県庁前」より 徒歩約3分
東武宇都宮駅より 徒歩約10分
東北自動車道「鹿沼IC」より 約30分



詳細は、「栃木県総合文化センター」ホームページをご覧ください。

表現活動、シンポジウム、
映像プログラムの詳細は
裏面で紹介していますので、
ぜひ参照してください。



【共生社会フォーラムin栃木 参加申込書】

ご記入いただいた個人情報は、
本事業以外の目的には使用いたしません。

法人名 (事業所名) または学校名			
	*コース①一般プログラム(基調講演等)をご希望の方は、この欄は未記入でも結構です。		
連絡先	住所	〒	
	電話番号		FAX
	E-mail	@	

参加希望コース □にチェックの上、コース②・③希望者は必ず 「中堅/学生・新任者」「対面/オンライン」いずれかに○	参加者氏名・ふりがな お名前の上にふりがな	コース② 職種・職階・福祉職経験年数 学生の場合:学部・学科・学年	コース① 希望者は 記入不要
☐ コース① 一般プログラム ☐ コース② 福祉職向け研修 () 中堅 / () 学生・新任者 ☐ コース③ 実践報告・交流会 () 対面 / () オンライン	代表者(連絡窓口)		
☐ コース① 一般プログラム ☐ コース② 福祉職向け研修 () 中堅 / () 学生・新任者 ☐ コース③ 実践報告・交流会 () 対面 / () オンライン			
☐ コース① 一般プログラム ☐ コース② 福祉職向け研修 () 中堅 / () 学生・新任者 ☐ コース③ 実践報告・交流会 () 対面 / () オンライン			

推薦欄※	【第1分科会(中堅)の研修希望者がいる場合のみ】 研修希望者は、福祉職・教員・行政職としておおむね5年以上の現場経験を有し、福祉施設・事業所・学校・自治体等の職場において職員を指導・助言する立場にあることを保証し、また以下の理由で研修への参加を推薦します。 《推薦理由》 (推薦者)法人名等・役職・氏名	印

備考欄 ※情報保障やバリアフリー対応について配慮が必要な場合はこちらにお書き添えください。

状況によりご希望どおりの対応ができない場合があります。その際はあらかじめご連絡いたしますので、ご了承ください。

※ コース②福祉職向け研修の中堅参加希望者は、所属の施設・事業所、社会福祉協議会、社会福祉法人経営者協議会、学校長・教育委員会、自治体等から推薦を得てください。

(公財)系賀一雄記念財団 FAX: 077-567-1708 E-mail: itoga-oubo@itogazaidan.jp

〒525-0072 滋賀県草津市笠山7丁目8-138滋賀県立長寿社会福祉センター内 TEL: 077-567-1707